

西条が誇る世界一 市之川の輝安鉱



▲西条郷土博物館蔵の輝安鉱（高さ45.5cm）

西条市にある世界一のもの——それは市之川鉱山の「輝安鉱」。西条市に住む私たちがその価値を知ることが、魅力を広めていくための第一歩かもしれません。



▲美しい輝安鉱の結晶（高さ30cm）

世界一の大きさ・美しさ

桜で有名な加茂川沿いの武文公園から約4キロメートル奥にある市之川鉱山跡では、かつて世界屈指の輝安鉱を産出していました。

輝安鉱は、半導体などに使われる「アンチモン」という金属の原料鉱石です。市之川鉱山から産出された輝安鉱の結晶は、大きさ・美しさにおいて世界一といわれ、現在も国内外の有名な大学・博物館などで標本として所蔵されています。海外では西条よりも市之川の方が有名です。

最盛期は明治時代

市之川鉱山の歴史は古く、その存在は江戸時代初期から

知られていました。記録では明治8年から昭和32年までの82年間に、製錬の原料となる精鉱量は3万6700トン、輝安鉱から精製されたアンチモン量は1万9000トンを産出しています。

中でも明治15年から明治30年にかけては、日本の輝安鉱産出量・輸出量の大半を市之川鉱山が占め、最盛期を迎えました。明治37～38年の日露戦争、大正の第一次世界大戦のころにも繁栄期を迎えましたが、その後、操業と休山を繰り返し、昭和32年5月に事業を中止し、閉山されました。

現在の市之川地区は10世帯ほどの小さな集落ですが、最盛期の明治中期には山あいに2千軒近い家屋が立ち並び、4千人近くの人々が住んでいま



▲かつては市之川地区に約4,000人もの人々が住んでいた（写真は正5年）



▲世界の鉱物ポスターに日本から唯一市之川産輝安鉱が掲載（写真中央）



▲大町小学校の5年生が3月に市之川公民館を訪れ、仮展示室を見学

若者が動き周囲も動いた

現在、市之川鉱山の価値を再評価し、その魅力を広めていこうという動きがあります。そのきっかけは西条高校生の活動。これまでの動向を、西条高校物理部顧問の園部孝行先生に聞きました。

「西条高校では平成25年から毎年イギリススタディツアーを実施しており、高校生が現地大学との交流や研究発表などを行っています。イギリス西南部のコーンウォールにある、世界遺産にも登録された鉱山跡地の見学や、そこで

市之川鉱山についての発表なども行っています」と教えてくれました。この活動の中で、材料科学の世界的権威であるケンブリッジ大学のコリン・ハンフリーズ教授とのつながりが生まれました。

平成26年には当市にハンフリーズ教授を招いて、シンポジウムを開催。西条高校生も研究成果を発表しました。このシンポジウムを契機に市民有志による「市之川鉱山の未来を考える会」が発足されるなど、市之川鉱山の保全や啓発に向けた機運が高まりつつあります。昨年5月には、日本地質学会が全国47都道府県の特徴ある「石」を選定し、愛媛県の鉱物として市之川鉱山の輝安鉱が選ばれました。園部先生は「西条高校では、

イギリススタディツアーで現地の方と交流して鉱山跡地の利用方法を学び、帰国後に報告したほか、物理部・地歴部・商業科がそれぞれの立場で市之川鉱山の調査・研究や広く周知するための取り組みを行っています」と話しました。

生まれ変わる鉱山資料室

市之川公民館にある鉱山資料室では、500点以上の鉱山関係資料を展示しています。昨年から展示スペースの拡充・改装を進め、これまでの展示室の部屋をつないで3倍の展示スペースとなり、内装もリニューアルしました。

「市之川鉱山の輝安鉱は世界に誇れるものであり、皆さんに知ってもらいたい」と語るのは、市之川公民館の渡邊博毅館長。公民館の鉱山資料室は5月3日(水)にリニューアルオープン予定で、渡邊館長も展示内容の充実に向けて準備を進めていました。

市之川公民館の開館日は基本的に火・木・日曜日ですが、市内はもちろん市外・県外や海外からもお客さんが来るとのこと。距離が近い大町小学

鉱山資料室 リニューアルオープニングイベント 愛媛の鉱物 輝安鉱にふれよう！

石を割って輝安鉱を見つけよう

日時 5月3日(水)～5日(金) 10時～15時
場所 市之川公民館 ※小学生は保護者同伴
必要な物 ゴーグル（水泳用で可）、手袋、筆記用具、鉱物用ハンマー（ある方）
問合せ 市之川公民館 Tel.0897-56-3300（開館日は原則、火・木・日曜日）

市之川公民館



道中にある案内板



道幅が狭く危険なところがあるため、お越しの際は十分ご注意ください。

校の児童も、遠足でこれまでに4回来て学んだそうです。渡邊館長は「残念ながら市之川鉱山のことを知らない人が多い。まずは価値や素晴らしさを知り、誇りに思ってもらえるような活動をしていきたい」と話していました。

市之川産輝安鉱は、市役所玄関ロビーのほか、東京の国



▲市之川について語る渡邊館長

立科学博物館で6月11日(木)まで開催中の大英自然史博物館展でも、世界一美しいといわれる群晶が展示されています。